さいしん

第 32 号

2010 年 4 月 4 日発行

袴田巖さんの再審を求める会　会報

年間会費：3000 円／郵便振替口座番号：00120-3-410592 ／口座名称：袴田巖さんの再審を求める会
ゆうちょ銀行 〇一九 店 当座 019-0410592 ／口座名称：袴田巖さんの再審を求める会
〒 101-0061　東京都千代田区三崎町２－２－１３　三崎信愛ビル 502 号
FAX：０３－３２３８－０７９７
ホームページアドレス：http://plaza.rakuten.co.jp/hakamadajikenhp/
E-mail：hakamada.saishin@gmail.com

面会報告

●2010/2/15、
3/8、10、18、25

3/10 アムネスティ英国支部フォトアクション！！

3/25 巌さんへの専門家面会の実現！！









GO!AHEAD!

負けられない戦いは続く！

Contents

○報　　告	面会報告	福田……	2
○寄　　稿	袴田巖さんと面会して	藤本豊さん……	4
○報　　告	巖さんへの専門家面会の実現について	福田……	6
○報　　告	弁護団レポート	福田……	7
○レポート	アムネスティ英国支部がフォトアクション！	福田……	8
○新聞記事	「救う会」が静岡地裁に署名を提出！	……	11
○レポート	行ってきました！「足利事件」無罪判決公判 & 報告集会	福田……	12
○レポート	1 月 24 日、救う会公開学習会に参加！	十川……	14
○報　　告	会計報告の承認について	求める会事務局	15
○活動報告	活動日誌、活動予定、編集後記	求める会事務局	16



面会報告

共同代表 福田勇人

先月 25 日、袴田巖さんとの面会に関して大きな動きがありました。心理の専門家である藤本豊さん (東京都立中部総合精神保健福祉センター勤務) が袴田さんと継続的に面会できるようになったのです (面会時の様子は藤本さんの報告を参照)。浜松・袴田巖さんを救う会事務局長の寺澤さんが作成してくれた面会実現までの経緯に関する資料を６ページに掲載します。

また、弁護団も袴田さんと定期的に面会することを決め、藤本さんの面会要請中の２月 15 日に東京・加藤英典弁護士が初めて袴田さんと面会したのをはじめ、３月８日に東京･戸舘圭之弁護士、そして３月 18 日には静岡・小川秀世弁護士と浜松・伊豆田悦義弁護士が袴田さんと面会しています (伊豆田弁護士は初めての面会)。

様々な人と面会できることで袴田さんの精神状態にいい影響が及ぶことを期待したいです。

● 2010 年 2 月 15 日 (月)

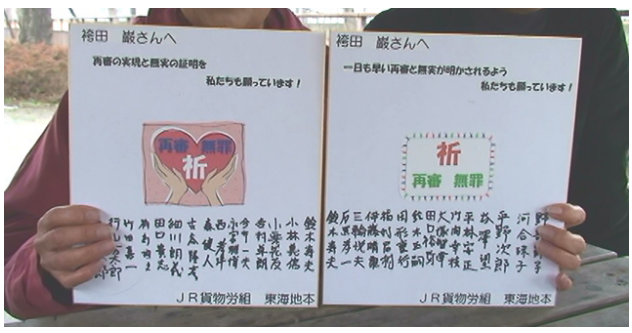
午前 10 時過ぎ、秀子さん・浜松救う会の寺澤さん・東京救う会の大竹さんの３人で受付。寺澤さんと大竹さんは拘置所決定で面会不可。その後秀子さんと加藤弁護士の２名で申請し直し、２人が 30~40 分間面会。

秀子さんによると、支離滅裂なことを真面目に話し、「クソ」という言葉を何度も言っていたとのこと。その他「健康そのもので走り回ってる」「医者は国家がやってることだから最終的に殺されるから診せない」などと発言。JR 貨物労組から送られた激励色紙を見せたが、「袴田巖はいない」と自分の存在を否定しているとのこと。

以下、加藤弁護士の話。

体調は良さそうだが少し顔がむくんでいる感じ。弁護人であることを伝え「よろしくお願いします」と自己紹介すると袴田さんも「よろしく」と答えた。「今日の午前 10 時に全能の神になるはずだったがまだなっていない」などの話で袴田さんの独演会のようになっていた。コミュニケーションは難しい感じ。事件や再審の話ができる雰


初めての面会を終えて報告する加藤弁護士と秀子さん



面会室で袴田さんに見せた JR 貨物労組からの激励色紙

囲気ではなく適切に防御権を行使できるとは思われない。

なお、この日は面会後、私も同席して、心理の専門家による袴田さんとの面会実現について拘置所に要請しました。

● 2010 年 3 月 8 日 (月)

(以下戸舘弁護士の面会メモから引用)

面会者：戸舘

面会日時：2010 年 3 月 8 日午前 10 時 40 分ころから約 30 分

面会申込書欄外に「無立会での面会を求めます」と記載しましたが、立会い付きで面会時間 30 分と指定されました。

面会内容

弁護士の戸舘であること、日弁連の弁護団として複数の弁護士が袴田さんの再審事件に関わっていることなどを伝えました。

「お久しぶりです。弁護士のとだてです。覚えていますか。」と伝えたところ見たことがある顔だといっていました。

「お姉さん、秀子さんは面会に来ていますか？」と聞いたら「1、2 週間前にきたなあ。」と言っていました。

秀子さんがお姉さんであることはわかっているような感じでした。

その他は、基本的には、いつも通りの、妄想的な内容の話でした。

運動はしているようで、歩いているようです。

「自分をいじめたり、苦しめたり、痛めつけてはいけない」などと言っていました。

以下、特徴的な言葉をあげておきます。

法務省の決定、ぜんぶ勝手におわった私になっちゃう、儀式、エジプトのばばあ、みんな私になっちゃう、自由、愛で生きれば何でも 100、法務省の権限で矯正、機械、神

最後に、私をふくめて弁護団の弁護士が会いに来ようと思っているが、いいですか。ときいたら「害はないからいい。」と言ってくれました。

裁判の話も一応説明しましたが、「裁判所といっても、私がやっているんだから。私が演じているんだから。儀式だから。全部勝手におわった」などと言っていました。

● 2010 年 3 月 10 日 (水)

アムネスティ英国支部フォトアクション報告 (８ページ) を参照。

● 2010 年 3 月 18 日 (木)

(以下伊豆田弁護士の面会メモから引用)

本日 (3 月 18 日) 午前 9 時 40 分ころから約 10 分強 , 小川秀世先生と伊豆田が面会をしました。小川先生は「事件の話をしてみたいので誘導してみる」との決意をもって臨まれました。

初めのうちは , 体重のことや , ビデオを見ていること , 週刊実話が差入れになっていて読んでいること , など , 会話が成り立っていましたが , 小川先生から , 実話に掲載されている小説の話を向けた当たりから , 様子が変わりました。

「嘘の世界はないんだな。儀式の規定でね。内容が変わっちゃう。不利益なことはない。自分に利益になる」云々という感じでした。

また , 小川先生から , 裁判の記録を差入れると伝えたことに対しても ,「嘘の内容は私のところに届かない。私の血で機械ができていて , 儀式で , 神が勝ったので , あなたたちも面会に来て , 最後は私になっちゃう」云々という返答でした。

事件の話題については , 意識してか否かはともかく , 頑なに触れることを拒むという心理状態が感じられました。

なお , 誕生日については「もう無くなったこと」だと話されていました。お花についても , 袴田さんが「今も入っている」と言っておられ , 差入業者の方から「身内の方から誕生日のお花が入ったばかり」と言われましたので , 私からは入れませんでした。

以上です。

● 2010 年 3 月 25 日 (木)

藤本豊さんの面会報告 (４ページ) を参照。■



袴田巖さんと面会して

藤本豊さん (東京都立中部総合精神保健福祉センター)

雨の東京拘置所で

その日は朝から雨だった。当日の朝、寺澤さんからの電話で３時に小菅の東京拘置所で待ち合わせることになった。小菅駅で寺澤さんが待っていたのだが、その後ろには現代センターの守田さんがビデオカメラを担いでいた。そこに福田さんが加わり、東京拘置所へ。その間に、守田さんがカメラを回しているので、緊張しながらもカメラ目線をするわけにもいかず、福田さんと話しながら向かった。

東京拘置所は、新しくなっていてちょうど大きな病院の待合室のようで、電光掲示板に面会票の番号が表示されると面会の順番が来たのがわかるようになっていた。面会票に、袴田秀子さん (以下お姉さん) と寺澤さんとぼくの３名の氏名を記入し提出したのだが、寺澤さんは面会人としての登録がないとのことで面会はできなかった (これは、想定内のことで、もしかしたら何かの間違いで面会できるかと ... のダメもとでのことだが)。

というわけで、お姉さんさんとぼくの二人での面会となった。拘置所の内部に入ったのは初めてのこと。入り口は、飛行場の搭乗口さながらのボディーチェックでサーモメータまであり、手を消毒してマスクを着用して中に入ることになる。SF に出てくる未来都市のような灰色の無機質な廊下が続き、エレベーターで 10 階の面会室に向かった。面会室はテレビドラマに出てくる面会室と同じだった。やがて、刑務官に連れられて袴田さんがガラス越しに現れた。支援者の方から聞いていたよりも、顔色も良くふくよかな印象だった。

面会までの経過

ここで、なぜぼくが袴田さんに面会に行ったかを、かいつまんで説明しよう。

昨年の秋口に寺澤さんから電話で、袴田さんの面会人になって欲しいとの依頼があった。寺澤さんの話では、お姉さんや支援者が面会に行っても、袴田さんが「私は神だ」などと話すので、どうしたら良いか困っているので、心理の人に面会者になって欲しいということだった。

その後東京でお姉さん、袴田さんと面会している東日本ボクシング協会の新田さんそして、福田さん、寺澤さんをはじめ支援者の方々と会うことになった。面会をしている、お姉さんと新田さんから、面会時にどの様に袴田さんと接したらいいかとの相談を受けた。

ぼくは、袴田さんは自分の思いを伝えようとしていると思い、「支離滅裂」に聞こえても袴田さんの話に寄り添うのが大切ではと伝えた。というのは、袴田さんからすれば長年拘置所といった特異な環境での生活を強いられていたのだ。そのなかで、独自の世界観を作ることで「生きながらえて」きたわけだと思った。一方、面会に行った側からすれば、面会時の状況を支援者に伝えなくてはとの思いがあり、どうしても袴田さんの現況を聞きだそうといった傾向が強くなることもわかった。確かに支援者としての面会であれば、多くの支援者に袴田さんの現況を伝えたいとの気持ちは良くわかる。でも、袴田さんの側に立って考えれば、365 日毎日変化がない生活を強いられているわけであり、面会時にことさら伝える現状があるとは想像できない。そこで、こちらが袴田さんの現状を聞きだそうという姿勢ではなく、誰とも話すことのできない袴田さんの話をゆっくり聞くのが袴田さんにとっては嬉しいのではと伝えたのだった。とはいえそれは頭の中ではわかっていてもなかなかできない現状があり、一緒に面会に行って欲しいという話になった。

寺澤さんと電話で話したときには、面会が平日にしかできないとのことで、毎月の定期的な面会

は、ぼくの仕事の関係で平日に時間を割くことも難しく、正直躊躇があった。とはいえ、袴田事件については静岡地裁の元裁判官の熊本さんの出演した報道番組を観ていたり、精神障害者の当事者団体の方からも話を聞いていて、早く再審が認められるといいなぁと思っていたので、不定期にはなるが時間の許す範囲で面会に行くことならば可能だと考えて、面会することを引き受けることにした。という経過で、3 月 25 日の面会が実現したわけである。

面会室で

面会室で、何をどう話そうかとか、袴田さんが話してくれるだろうかなどハラハラしながら、袴田さんを待っていた。目の前に袴田さんが現れ、お姉さんが「どう元気」と
袴田さん「ああ ...」
お姉さんがぼくのことを東京の支援者と紹介してくださり、「話で伺っていたより、お元気そうですね」とぼく、すると袴田さんは「ここにいれば安心だから、心配ない」といった内容のことを話された。

ぼくの頭の中では、袴田さんとの話をどう進めていこうかとの思いと、忘れないようにしなければとの思いが同時に展開していた。というわけで、ここに書いていることは正確さには欠けるが、面会の状況を少しでも伝えられればと思い記すことにする。

以下 < > 内はぼくの話。「 」は袴田さん
食べ物の話になったので
< 好きなものは ?>
「甘いものだな。塩はダメだ。」
< 塩はからだに悪い ?>
「全部ダメにする。砂糖ならいい。砂糖には愛がある。平和にする。」
< 誰が平和にするの ?>
「神がしている。神が守っている。」
< ここにもいる ?>
「拘置所には神がいる。だから安心。神には逆らえない。」
< 袴田さんも、神に守られているの ?>
「私が神だ。」
< 拘置所で一番偉い ?>
「..... 神が守っている。」
このあたりで、袴田さん = 神といったことがわかってきたので、ぼくは袴田さんとは呼ばすに、袴田さんが何が食べたいかという意味で次のように聞いた。
< 神様には何を捧げればいい ?>
「ケーキとぶどう酒。」
< お酒じゃだめ ?>
「ワインがいいなぁ ~」
少しずつ関係が取れてきたので、今度は現実の話として
< お昼は何を食べました ?>
「なにかなぁ .....」
< ご飯はおいしい ?>
「こんなもんだなぁ ...」
< どんなもんがでるの ?>
「.....」
< 納豆とか ?>
「納豆は朝だな、豆腐とか。」
< おそばとかは ?>
「そんなのはない。」
< パンは ?>
「昼、土曜の昼はコッペパンがでる。」と、
このときに袴田さんは、高齢者施設に入所している高齢者との会話のような、ごく「普通のおじいさん」(袴田さんごめんなさい <m(__)m>) といった感じで会話が進んでいった。
< 風邪は惹かなかった ?>
「ここは健康を守ってくれる。動かないとダメになる。朝一時間と昼一時間歩いている。朝ご飯を食べてから一時間と、昼ご飯を食べて少し寝て一時間。夕は 5 時に食べて、寝る。」

この辺りで、刑務官からもう時間ですと言われ、袴田さんは面会室から出て行った。

最後の会話のときの表情がちょっと照れくさそうだった。そして、他にやることないもんなぁといった表情が印象的だった。

面会を終えてから、雨の中近くの公園の東屋で、ビデオカメラを回しながら、寺澤さんや福田さん石井さんに面会の状況をお姉さんと報告。その後、「BOX 袴田事件 命とは」の試写会が京橋であるとのことで、お姉さんと石井さんと一緒に京橋へ向かった。

「BOX 袴田事件 命とは」を観て

袴田さんとの面会を終えてすぐの試写会。試写を観ているのだが、頭の中では映画と袴田さんの面会が錯綜していた。試写を観て、映画のなかで無実を訴える袴田さんが、今拘置所の中で、「私が神だ」と言っているのが理解できた。1966 年に逮捕されてから 44 年間も閉じ込められた中での生活。1980 年に死刑が確定してから 30 年間の死との隣り合わせの生活の中での生きる術として、自らを神としていったのだ。面会での会話で、「神には逆らえない」の一言は、自分ではどうにもならない「死刑囚」の袴田さんが、自らの命を例えているのではないだろうか。また一方「神によって守られている」という中で、「死にたくない」「生き続けたい」という袴田さんの強い希望が語られていると思った。

一日も早く再審が開始され、冤罪を立証させなくてはと痛感した、一日だった。■



巌さんへの専門家面会の実現について

共同代表・福田勇人

2009/11/27　法務省交渉。

〃　ひで子さん、救援会関係者 (東京 / 新田、石井、福田、浜松 / 寺澤) 及び藤本氏と打ち合わせ。面会枠の拡大を求めるのでなく、専門家としての面会を別枠で要求することとする。

12/26　弁護団会議。ひで子さん、弁護団、救援会それぞれが拘置所への要請として検討するも、共同での要請書作成となる。

2010/2/15　拘置所要請行動。ひで子さん、弁護団 (加藤)、救援会 (東京再審を求める会 / 福田、浜松救う会 / 寺澤)。拘置所側 山川調査官他 2 人。事前に要請書を送ってあり、この段階での返事はできないが、内部回覧中である。また、具体的な専門家の状況を弁護士から文書での提出の指示あり。(口頭で概略を伝える)

3/19　FAX 及び電話にて山川調査官あて、3/25 面会予定を伝え、面会実現を要請。山川調査官 / 専門家の特定が必要なため、文書の提出を。

3/23　拘置所宛要請書メーリングリストにアップ。

3/24　西嶋弁護団長に経過を説明し了解を得、要請書を拘置所宛 FAX 送信。拘置所外部交通区長より電話あり。「本日中の結論は難しい。明日朝までに結論を出すので、明日電話で回答する」とのことであり、明日の実現を重ねて要請。

3/25　8:30 過ぎ。拘置所外部交通区長あて電話を入れ、「藤本さんの面会を許可します」との回答を受ける。
15:30 過ぎから、ひで子さんと藤本さんによる面会実現。約 20 分。■

弁護団レポート

三者協議延期

代表・福田勇人

３月 26 日 (金) に予定されていた第３回三者協議が、３月 19 日付の検察側からの申入れで延期されました。弁護団による証拠開示請求に関して裁判所が検察に提出を求めていた意見書が未完であり、さらに検討に時間を要するとの理由です。これまで担当していた島田健一検事の異動も一因のようです。

証拠開示に関しては、検察上層部が柔軟に対応する姿勢を取り始めている可能性がありますが予断を許しません。なお、弁護団は３月８日付で証拠開示理由補充書 (2) を提出し、再審事件である「狭山事件」や「福井女子中学生殺し事件」で裁判所が検察に対し証拠開示勧告を出していることを示し、速やかに開示命令もしくは開示勧告を発するよう求めています。

また、静岡地裁の担当裁判長の交代に続き、他の２人の陪席裁判官も異動によって交代することになりました。詳細は次号で報告します。■



ニュース記事

袴田事件：第２次再審請求、３者協議を延期／静岡

旧清水市 (現静岡市清水区) で 1966 年、みそ製造会社の専務一家４人が殺害された「袴田事件」で、無実を訴えている袴田巌死刑囚 (74) の第２次再審請求をめぐる静岡地裁、静岡地検、弁護団の３者協議について同地裁は 17 日、次回の協議を延期すると決めた。当初、次回は 26 日に開催を予定していた。

弁護団の説明によると、地検側が延期を求めた。３回目の次回は、５月の大型連休明け以降まで大幅にずれ込む見通しだという。

昨年末の前回協議で、弁護団は地検側に対し、袴田事件に関する証拠の開示を改めて迫り、地検側は 26 日までの回答に応じていた。

【毎日新聞 2010 年３月 19 日 WEB 版】■



袴田さんが収容されている東京拘置所

アムネスティ英国支部がフォトアクション！

共同代表・福田勇人

2010 年 3 月 10 日 (水)、袴田巖さんの 74 歳の誕生日に合わせて、袴田秀子さん・新田渉世さんと支援者 4 名で午後 1 時過ぎに東京拘置所を訪れ、袴田さんとの面会に臨みました。

この日の面会の大切な目的は、アムネスティ・インターナショナル英国支部の方々が袴田さんの早期解放のために実施してくれたフォトアクションという支援活動 (「袴田さんに自由を !」と書かれたメッセージカードを持った人々の写真を多数使用した「ジャイアント・ビジュアル・メッセージ」を袴田さんの誕生日に在英国日本大使館に送るという活動) を袴田さんに報告することでした。

アムネスティ日本のボランティアの方々にはこの日の面会のために、実際にフォトアクションに使われる写真をプリントアウトして模造紙に貼り付け綺麗にデコレーションしてもらいました。これを面会室に持ち込んで袴田さんに見てもらうことにしたのです。

ところが、このメッセージの面会室への持ち込みを拘置所が許可しなかったため、袴田さんに直接見てもらうことができませんでした。不許可の理由はわかりません。やむを得ず、別に用意した A3 版のバースデーカードをお花やボクシング雑誌と一緒に差し入れましたが、これも袴田さんの手元に実際に届けられるかどうか定かではありません。

面会者の数や条件を厳しく制限するだけでなく、具体的な法的根拠も示さず写真やバースデーメッセージを面会室に持ち込むことすら制限する拘置所の対応は限度を越えていると言わざるを得ません。

面会した秀子さんと新田さんの話によると、今日の袴田さんは外見上は健康そうだったとのことですが、立会いの刑務官がどうメモを取ればいいか困っているように見えるほど、秀子さんたちとの会話は噛み合わないことが多く、精神的にはあまりいい状態ではなかったようです。

３月９日、弁護団の戸舘弁護士が面会したときも、「裁判所と言っても私がやっているんだから。私が演じているんだから。儀式だから。全部勝手におわった」などと話し、再審請求に関する実質的な話は全くできなかったそうです。現在の袴田さんは残念ながら自ら防御権を適切に行使できる状態ではありません。

さて、フォトアクションが行なわれた現地では、英国国会議員のアリステア・カーマイケルさんとアムネスティ英国支部の方々が、国際基準に基づく公正な再審の開始と釈放を求めて、大きなメッセージパネルをロンドンの日本大使館に届けてくれました。前日には声明も発表してくれています (資料集参照)。

「袴田事件」への関心は国際的な広がりを見せています。FREE HAKAMADA NOW !
(以上、本会ブログから転載) ■





拘置所前でアムネスティ英国支部の支援活動を紹介したバースデーメッセージを手にする秀子さん



日本大使館前でフォトメッセージパネルを掲げるカーマイケル議員



バースデーパネルを持つアムネスティ英国支部の方たち



袴田さんに差入れたバースデーカード

FREE HAKAMADA NOW!

無実を訴え続ける死刑囚

元日本フェザー級6位 **袴田巌さんに**

再審・無罪判決を

ニュース記事

先月9日（火）、「無実の死刑囚・元プロボクサー袴田巌さんを救う会」が静岡地裁に早期再審開始を求める約８６００筆の署名を提出しました！

毎日新聞

静岡中　2010年（平成22年）3月10日（水）

袴田事件

速やかな再審請願

支援団体 地裁に8613人署名添え

1966年に旧清水市（現静岡市清水区）で、みそ製造会社専務の一家4人が殺害された「袴田事件」で、無実を訴え、静岡地裁に第2次再審請求している袴田巌死刑囚(74)の支援団体は9日、再審を速やかに始めるよう求め、8613人分の署名とともに請願書を同地裁に提出した。

「無実の死刑囚・元プロボクサー袴田巌さんを救う会」が提出した。今回の署名は会員らが08年9月ごろから、街頭などで集めてきたという。

救う会のメンバーと一緒に請願書を提出した、袴田死刑囚の姉秀子さん(76)は県庁で記者会見し「支援はとてもありがたい。速やかな再審の開始を願っている」と話した。

最高裁は08年3月、袴田死刑囚について再審請求の特別抗告を棄却。このため弁護団らは翌月、静岡地裁に第2次再審請求に踏み切った。この請求をめぐって同地裁では昨年7月から、裁判所、検察側、弁護側の3者協議が続いている。【平林由梨】



袴田死刑囚の速やかな再審開始を求める署名を静岡地裁に提出しに向かう支援者と姉秀子さん（前列の右から2人目）＝静岡市葵区追手町の静岡地裁前で9日

Free Hakamada Now!!!

www.free-hakamada.com

日本プロボクシング協会公認

袴田巌再審支援Ｔシャツ通販サイト

FREE HAKAMADA NOW!

GO!AHEAD!!



行ってきました！「足利事件」無罪判決公判＆報告集会

共同代表・福田勇人

2010 年 3 月 26 日 (金)。「足利事件」の菅家利和さんに対する無罪判決が言渡されると聞き、宇都宮まで行ってきました！

午前 8 時半過ぎに裁判所に到着。報道陣や傍聴券を求める市民やらでごった返し、国民救援会の拡声器アピールも響いて如何にもこれから重要な判決が出ますっていう雰囲気です。

傍聴抽選券を求める長蛇の列に加わり、受け取った紙製のリストバンドには「1016」の番号。右手に巻かれたバンドをいじりながら期待して抽選発表を待つもあえなく落選。当選確率「1513 分の 48」のハードルはちょっと高すぎました。

そうこうしているうちに、支援者の拍手に迎えられいよいよ真打ち登場！ダークグレーのスーツにピンク色のネクタイ (どうやら布川事件の桜井昌司さんにプレゼントされたものらしい) でビシッとキメた菅家さんが、13 人の弁護団を引き連れて颯爽と裁判所に入って行くじゃないですか。ウーン、何かカッコいい。



午前 10 時に開廷した公判。時々報道関係者が出入りします。まあ、無罪判決は決まってるから、記者がダッシュで出てきてマイクを握り「無罪です！無罪です！」みたいな緊迫した感じじゃないけれど、それでもディレクターらしき人があちこち動き回って仕切りに携帯で連絡を取り合ってたり、アナウンサーがカメラリハーサルなどをしてる姿などを見ると、自然と気分が高まります。

そして午前 11 時ごろ、正面玄関前に陣取ってるカメラマンのフラッシュが一斉に焚かれたと思うと、笑顔の菅家さんが両手を大きく振って出てきました！弁護団が「完全無罪」「裁判長、謝罪」「旧 DNA 鑑定の証拠能力否定」と書かれた 3 枚の紙を誇らしげに掲げてます！正門前まで出てきた菅



家さんに物凄い勢いで報道陣が群がり、テレビのカメラマンから「スチール邪魔！下がれ！」なんていう罵声も飛び交います。私もどこかの新聞社が持ってきた撮影用の脚立をちゃっかり使わせてもらいビデオカメラを回しました。撮影が一段落すると佐藤博史弁護士が判決内容について簡単に説明を始め、日テレの笛吹雅子アナが菅家さんにマイクを向けて「おめでとうございます」とインタビュー。でも周りが騒がしくて何て言ってるのかよく聞き取れないんだよなあ。

その後、ぶら下がり取材のために菅家さんたちは別の場所に移動。代わって正門前では裁判を傍聴した狭山事件の石川一雄さんや布川事件の桜井さんと杉山卓男さんへの取材が繰り広げられます。早いとここの 3 人にも無罪判決を出してくれないかなあ。もちろん袴田さんにも。

そんなこんなで 1990 年の事件発生以来 20 年の歳月を経て、ようやく菅家さんの無実は司法のお墨付きをもらったのでした。菅家さんの求めてきた「真っ白な無罪判決」を祝福するように裁判所の大きなハクモクレンの木が真っ白な花を咲かせてます。それにしても長すぎるよ。

午後０時半から記者会見が行われる予定の栃木県庁に清水救援会代表の楳田さんたちと移動。食堂で NHK のお昼のニュースを見ながら昼メシ。もちろんトップニュースは「菅家さん無罪判決」です。そしてそろそろ記者クラブに行こうかと思ったらテレビ画面が記者会見のライブ映像に切り替わり、菅家さんが話し始めるじゃないですか。会見の開始時間が早まったのを知らず唖然とする我々。しょうがないのでテレビで会見を見たのでした。

ニュースでは会見の冒頭部分だけ放送していたので、終わってるかもしれないけれどダメもとで記者クラブに移動。会見は続いてました。「車の免許を取り直して早く運転したい」という菅家さ



んには無邪気な笑顔。表情が和らぐ度にカメラのフラッシュとともにシャッター音が響きます。菅家さんの横にはいつものように佐藤弁護士。裁判長以下３人の裁判官が起立して頭を下げたことなどを評価する一方で、自白の任意性を認めた判断には不満があるよう。午後１時過ぎに記者会見は終了し、菅家さんは記者クラブ内のソファーで免田事件の免田栄さん夫妻と談笑。新聞報道によると、そのあと菅家さんは同じソファーでちょっと仮眠を取ったようです。

我々もその後、免田さん夫妻、石川さん夫妻、



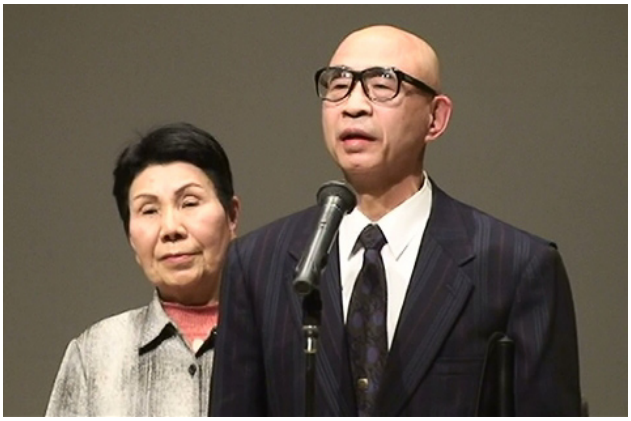
狭山事件を支援している部落解放同盟の安田聡さん、氷見事件冤罪被害者の柳原浩さん、ルポライターの鎌田慧さん、人権と報道連絡会の山際永三さん、それから長年菅家さんを支えてきた西巻糸子さんたちと合流して、県庁内の喫茶店へ。横で鎌田さんが免田さんの奥さんと長期拘禁の後遺症の話をしていることなどつゆ知らず、今後の袴田さんの支援活動について楳田さんとしばしおしゃべり。その後、夜に開かれる集会の準備のために栃木県弁護士会に移動。袴田事件のリーフレットを配布資料に挟み込ませてもらいました。

県庁隣りにある栃木県総合文化センターサブホールの舞台には、「菅家さん、無罪判決おめでとう！」の横断幕。午後７時に「『足利事件』無罪判決報告集会」が始まりました。入場者 300 人以上、報道陣も多数詰め掛けてます。司会の若い女性弁護士はちょっと緊張気味。お決まりの日弁連の挨拶や弁護団の裁判報告が終わると、少し照れくさそうに菅家さんが登場しました。無罪獲得の報告と感謝の辞を述べたあと、「今後は冤罪に苦しむ人を支援したい」と発言。会場からはもちろん拍手と声援です。

そして、参集した名だたる冤罪事件の関係者に



菅家さんから花束が贈呈されました。袴田事件からは袴田秀子さんとトクホン真闘ジム会長の佐々木隆雄さんの２人が登壇し菅家さんとガッチリ握手。続いて秀子さんと佐々木さんの支援アピールです。佐々木さんのアピールが少々長引きヒヤヒヤしたけれど、佐々木会長！その熱い思いはみ



んなに伝わりましたよ！

そして、国民救援会恒例の「無罪」の書の引継ぎ。菅家さんから桜井さんと杉山さんにしっかりと手渡されます。布川事件の再審公判はこの夏にも始まるとのこと。この２人が晴れて無罪を獲得すれば、菅家さんとともに冤罪事件支援の強力な助っ人になること間違いなしです！最後に弁護団の渋川孝夫弁護士から挨拶。午後８時半過ぎに集会は終了しました。



時間がなかったので菅家さんたちとのカラオケ祝賀会には参加できず、代わりに宇都宮駅前のギョーザ屋で楳田さんと２人でささやかな祝宴。「今年が勝負」との認識で一致し、袴田さんの再審無罪を獲得し本当の祝杯をあげる決意を新たに生ビールのジョッキを空けました。

菅家さん、本当にお疲れ様。■

1月24日、救う会公開学習会に参加！

事務局・十川

清瀬教会で、開催された救う会の公開学習会に参加した。

全くの私事で恐縮だが、その日、会場に行く前に、偶然すぐ近くにある病院のホスピス病棟に、末期ガンの義母を見舞っていた。義母は、よれよれの状態。既に死期を悟っていた。そして、その２週間後に死去。

清瀬には、ハンセン病療養施設があり、以前、それに対する偏見・差別により、他の地域から住む人が少なく、そのおかげというのだろうか、現在は広々とした敷地を持つ病院が多い。また、多分、それに関係すると思うが、キリスト教関係の教会も。会場となった清瀬教会もその一つだと思う。地域に溶け込んだ教会という気がした。

初めて行く場所なので、道に迷い、定刻を過ぎて到着。中に入ると教会なので、余裕を持って座ってはいたが、かなりの出席者。どこに座ろうかと迷っていた私に、手招く人が。よく見ると、スタッフの荒井さんが。なんだ、一人じゃなかったんだ、と思いながら、横に座らせて貰う。

この日の講師は、元外務官で現在は評論家の佐藤優氏。数年前、現新党大地の代表鈴木宗男衆議院議員の収賄事件に関連し、異常とも思えるマスコミなどからの攻撃で「外務省のラスプーチン」と呼ばれ、職を追われた人だ。

鈴木さんと同様、囚われの身になっても、節を曲げず、少しではない期間、獄中生活を送った人でもある。

この日の話題は、多岐にわたった。まず、袴田さんが気の遠くなるような長い時間、囚われの身になっている監獄＝東京拘置所の内部の状況。実際に、居たこともあって、生々しい話。佐藤氏の強い性格を見こまれて、普通はありえない死刑囚がいる棟に居住したこともあったそうだ。隣の房には、連合赤軍事件の坂口氏。逮捕後 40 年、死刑確定後 20 年近くになるのに、冷静に落ち着いて生活しているようだ。でも、このような精神力

が強い人は、まれ。ほとんどの人は、いつ襲ってくるかわからない死刑執行の知らせに、慄きながら、多かれ少なかれ、精神に異常を来しているのは、容易に想像出来る。

冤罪で、入っている袴田さん。いかばかりの思いで獄中にいるのだろうか？このような状態にした人たちに対しての怒りと共に、未だに救いだせていない無力さを否応なしに感じた。

その後、司法権力の横暴さにも、話が及んだ。現在も、行われている民主党を矛先にした検察の「捜査」。

鈴木さん、佐藤さんも受けた巨大マスコミを使った起訴される前に既に犯人である、というイメージを一般大衆に植え付けるのは、はるか 45 年前、袴田さんもされたことだ。私は、必ずしも民主党や小沢氏を支持するものではないが、昨夏の衆議院選の半年ぐらい前から行われている民主党をターゲットにした検察の「捜査」に怖さを感じていた。

佐藤さんは、「正義の味方」検察が自己保身のために、特定の個人・組織に対して恣意的な「捜査」介入を行うことを自らの経験を例に、語りかけた。具体的なことで、驚いたのは、鈴木さんや佐藤さんが、起訴されて裁判で争っていることに、当時、マスコミで毎日のように取り上げられたムネオハウスのことやアフリカでの不正は、含まれていないことである。それは、全くの捏造した事件だったのにもかかわらず、マスコミでの訂正は、なされていない。そして、私たちも、その事実を知らない。このようなことも、以前から全く変わっていないことだ。本当に、恐ろしいことである。

佐藤さんの話は、実体験によるものなので、迫力があった。そして、その強烈な個性と、博学な知識に裏打ちされた多岐にわたる話に、ぐいぐい引き込まれて行き、かなりの長時間、休憩がなかったのにもかかわらず、あっという間に講演は終わってしまった。昔とは違い、思想の自由を十分保証されているとされているこの国。本当に、そうなのか？冤罪の袴田さんひとり救い出せていないじゃないか？

自戒も含めて、いろいろな事を考えながら、帰路についた。■

会計報告の承認について

求める会事務局

前号のさいしん 31 号にてご報告させていただきました 2009 年会計報告につきまして、2 月末日までに異議がございませんでしたので、これをもって承認とさせていただきます。会員の皆様、よろしくお願いいたします。

袴田巖さんが自由の身になるまで、再審がなされるまで、共に頑張りましょう！ FREE HAKAMADA NOW!! ■



本会のホームページアドレスが変更になっています。

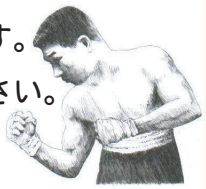
http://plaza.rakuten.co.jp/hakamadajikenhp/

ただいまこちらのブログを更新しています。HP のお手伝いをして下さる方がおりましたら、こちらまで。

E-mail：hakamada.saishin@gmail.com

カンパのお願い

☆会では活動資金が必要です。
☆どうぞカンパにご協力下さい。
☆ボーナスカンパ大歓迎！



郵便振替口座番号：00120-3-410592
口座名称：袴田巖さんの再審を求める会

または

ゆうちょ銀行 〇一九店（ゼロイチキュウ店）
当座　019-0410592
口座名称：袴田巖さんの再審を求める会

※「巖」は「巌」でも大丈夫です。

活　動　報　告

2/15　袴田さん面会同行 (小菅・東京拘置所)
2/15　専門家面会要請行動 (小菅・東京拘置所)
2/15　弁護団会議参加 (霞が関・弁護士会館)
2/15　ボクシング界支援者と打合せ (霞が関・弁護士会館)
2/18　袴田事件関連書籍出版打合せ (有楽町・ストーンほか)
2/19　事件関係者聴き取り調査 (川崎・魚民)
2/24　袴田事件関連書籍出版打合せ (水道橋・東京ドームホテル)
2/24　ボクシング界支援委員会参加 (水道橋・ヴィッキーズ)
2/25「日本の司法を考える会」参加 (永田町・村上正邦事務所)
3/2・3　現地調査 (静岡市 / 富士市)
3/3　弁護団事務局会議参加 (霞が関・弁護士会館)
3/10　袴田さんに面会申込 (小菅・東京拘置所)
3/14　求める会定例会 (巣鴨・村﨑法律事務所)
3/17　国会議員秘書と打合せ (永田町・衆 / 参議員会館)
3/17　ボクシング界支援委員会参加 (水道橋・ヴィッキーズ)
3/18　マスコミ関係者と打合せ (内幸町・プレスセンター)
3/25　袴田さん面会同行 (小菅・東京拘置所)
3/25　袴田事件映画試写会出席 (京橋・テアトル試写室)
3/26　足利事件無罪判決報告集会参加 (宇都宮・栃木県総合文化センター)
3/27　救援連絡センターセミナー「冤罪・袴田事件はいま」参加 (新橋・福祉会館)
4/2　弁護団勉強会参加 (静岡・弁護士会館)
4/2　弁護団会議参加 (静岡・弁護士会館ほか)
4/2　事件関係者聴き取り調査 (富士市・幸福楼)
4/4　『さいしん』32 号発送作業 (横浜・かながわ県民センター)

活　動　予　定

求める会

4/14　袴田さんに面会申込 (小菅・東京拘置所)
4/18　求める会定例会 (巣鴨・村﨑法律事務所)
5/30　『さいしん』33 号発送作業 (横浜・かながわ県民センター)

その他の団体

4/7　袴田事件映画試写会 (永田町・憲政記念館)
4/10　ゴビンダさん支援集会 (三田・港勤労福祉会館)
4/14　ボクシング界支援委員会 (水道橋・ヴィッキーズ)
4/27　弁護団事務局会議 (霞が関・弁護士会館)
5/16　浜松救援会集会 (浜松・中瀬公民館)
5/28　第３回三者協議 (静岡・静岡地裁)
5/28　弁護団勉強会 (静岡・弁護士会館)
5/28　弁護団会議 (静岡・弁護士会館)

☆少しでも広めて下さい！☆
◇力をかしてして下さい◇
★カンパをお願いします！！★

編集後記

亀田興毅選手があのタイのポンサクレック選手に破れた。再びリングに立つ決心をした内藤大助選手にとっては、どちらとの再戦も悔いの残らないものになるかもしれないと思った。そこに辿り着けるか。いやその前に清水智信選手との再戦ということもあり得る。フライ級の話ばかりで恐縮です。<(_ _;)> 僕たちは袴田巖さんの裁判所での再戦を待っている。僕らはそこに辿り着けるのか。映画「BOX—袴田事件—命とは」がこの５月末頃に公開予定だ。負けられない戦いは続く。力を貸して下さい。（ペンネーム zan）

Free Hakamada Now!!!